



かけ はし
懸 橋



町内の小学校6年生による「ミニ議会」で一般質問する小学生議員（役場本庁舎議場）

もくじ

- 19年第4回定例会・第3回臨時会 2～3ページ
- 一般質問 4～8ページ
- 議会常任委員会調査視察報告 9ページ
- どうなったあの質問・編集後記 10ページ

平成19年 第4回定例会

八戸広域消防本部庁舎移転建設へ

八戸地域広域市町村圏事務組合規約の変更に伴い、八戸広域消防本部庁舎が、田向地区（八戸市民病院近く）に移転建設されます。平成21年着工、平成23年完成の予定です。



定例会の会期について報告する
佐々木光雄 議会運営委員長

平成十九年第四回定例会は、十二月七日から十一日までの五日間の会期で開かれ、条例の一部改正、下田公園周辺環境保全用地の取得、いちよう公園整備事業用地の取得、おいらせ町土地開発公社定款の一部変更、八戸地域広域市町村圏事務組合規約の変更、平成十九年度一般会計及び特別会計の補正予算など、議案十一件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問には、五人の議員が登壇し、町当局の所見を求めました。

また、青森県司法書士会から出されていた「割賦販売法の抜本的改正を求める意見書採択に関する陳情書」は産業民生常任委員会に付託し、審査することになりました。

主な議案の内容

◆おいらせ町国民健康保険
保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令の改正により、平成二十年四月から六十五歳以上七十五歳未満の年金受給者を対象に、国民健康保険税の徴収方法が、原則として特別徴収とする。

◆下田公園周辺環境保全
用地の取得

下田公園周辺の環境保全用地として、総面積八千七百六平方メートルを取得する。

◆いちよう公園整備事業
用地の取得

いちよう公園の整備事業用地として、総面積一万八千三百五十一平方メートルを取得する。

◆おいらせ町土地開発公社定款の一部
変更

郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴い、町土地開発公社の定款について所要の変更をする。

◆八戸地域広域市町村圏事務組合規約
の変更

八戸地域広域市町村圏基金のさと市町村圏基金の一部を取り崩して、八戸消防本部庁舎の建設事業費に充当するにあたり、基金に積み立てた関係市町村からの出資金に相当する額の処分手続きを定めるため、規約の変更をする。



議論を交わす第4回定例会の様子

補正予算の概要 (19年12月補正)

(単位：千円)

| 会 計 | 補正前 | 補正額 | 補正後 | 補正の主なもの |
|------|------------|--------|------------|---|
| 一 般 | 9,016,974 | 68,511 | 9,085,485 | 保育所の開所時間延長促進事業委託料 5,369 入所児童増加に伴う児童運営費 24,780 浄化槽設置整備費補助金 2,760 企業誘致を推進するための旅費 122 町道整備工事費 15,000 中体連等大会出場補助金 1,260 下田中学校講堂耐力度調査委託料 2,554 百石中学校ピアノ購入費 1,372 大雨による道路等災害復旧工事費 3,560 |
| 国 保 | 2,616,614 | 23,281 | 2,639,895 | 退職被保険者等療養給付費 22,800 退職者被保険者等高額療養費 1,740 |
| 老人保健 | 1,572,556 | 0 | 1,572,556 | |
| 奨学資金 | 15,473 | 0 | 15,473 | |
| 公共下水 | 1,215,079 | ▲6,221 | 1,208,858 | 水洗便所改造等奨励金 831 馬淵川流域下水道事業負担金 ▲6,774 |
| 集落排水 | 104,522 | 540 | 105,062 | 古間木山地区処理施設の修繕費 1,062 |
| 介護保険 | 1,555,907 | ▲2,218 | 1,553,689 | 居宅介護サービス等給付費 28,500 介護予防サービス等給付費 ▲30,000 地域密着型介護予防サービス等給付費 ▲3,150 介護予防サービス計画等給付費 ▲3,000 |
| 霊園事業 | 13,885 | 0 | 13,885 | |
| 公共用地 | 51,386 | 0 | 51,386 | |
| 病院事業 | 1,049,450 | 10,277 | 1,059,727 | 投薬及び注射用薬品 5,505 C T管球・X線装置借上料 4,049 |
| 総 計 | 17,211,846 | 94,170 | 17,306,016 | |

主な議案の内容

◆おいらせ町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議員の十二月支給に係る期末手当の支給率を百分の五、引き下げる。

◆おいらせ町特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正

町長、副町長の十二月支給に係る期末手当の支給率を議員と同様に百分の五、引き下げる。

◆おいらせ町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正

教育長の十二月支給に係る期末手当の支給率を議員と同様に百分の五、引き下げる。

第三回臨時会

平成十九年十一月二十二日

◆おいらせ町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

県人事委員会勧告を受け若年層の給料月額を引き上げと、扶養手当を引き上げ、また、期末手当の支給率を百分の五、引き下げる。



臨時議会の様子

百石高等学校

介護福祉科設置

の進展は

質問① 平成十八年六月定例議会において「高等学校グラウンドデザイン会議」の答申後、方向性が出てくるのではということとで同年八月、県教育委員会へ要望書を提出したが、その後の進展は。

質問② 生徒数減少により高校改革で平成二十二年度までの間に十二校が統廃合される予定だが、百石高校は、その心配はないか。



種市 恭子 議員

答弁① 答申の中で十年後の県内中学校卒業予定者は今春三月卒業予定者一万四千七百人より二千七百人の減少が見込まれ、また、生徒自身や保護者の願いは普通科への志向が高く、今後は普通科の比率を高めることが望ましいという答申が出されています。要望につきましては、第二専門委員会において検討された中で少子化による入学生徒の減少、科の新設に要する経費が財政的に非常に厳しいものがあるということから、期待は薄いという見通しです。

答弁② 四学級をもって基準としていますので百石高校は基準を満たしており統廃合予定校には入っておりません。

合併特例債

活用事業は

質問① 合併推進のための財政措置の一つとして合併特例債があります。

財政的なメリットとして当町でも当然活用し、新町建設計画に基づく事業や地域振興に役立てているわけですが、合併特例債は上限額七十四億円のうち、五十一・四%に当たる三十八億円を合併後十年間で借入れすることを見込んでいます。新町において合併特例債を活用しての事業名と合計金額、また、今後どんなものを計画しているのか、そして予定額の見込みについて伺います。

答弁① 十年間の借入総額は二十九億七千四百六十万円になるものと予定しています。

地域振興基金は「旧町単位の地域振興」や「住民の一体感の醸成」のために活用でき、基金積立金についても合併特例債が充当できるもので、十一億六千万円の満額を借入しています。

質問② 合併特例債が公債費にどのような影響を与えているのか伺います。

答弁② 元利償還額の七十パーセントという高い割合の交付税措置は、他の地方債にはない有利な点であり、また、実質公債費比率を抑制することにもなります。



合併特例措置で整備された木内々地区公園

答弁①のまとめ

合併特例債活用事業と予定見込み額

単位：千（円）

| 事業名 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度～27年度 |
|------------------|-----------|---------|---------------|
| 地域振興基金積立事業 | 1,168,500 | | |
| 戸籍電算化事業 | 18,100 | | |
| 木ノ下中学校屋外教育環境整備事業 | 85,000 | | |
| 公共サイン整備事業 | 34,100 | 40,500 | |
| 木内々地区公園整備事業 | 25,600 | 38,000 | |
| 消防ポンプ自動車整備事業 | 25,000 | 17,900 | 21年度～23年度 |
| 消防屯所改築事業 | | 18,200 | 20年度向山、21年度間木 |
| 防災行政用無線統合事業 | | 63,300 | |
| 百石中学校校舎改築事業 | | | 20年度～22年度 |
| 木ノ下小学校第二体育館建設事業 | | | 23年度～24年度 |
| 計 | 1,356,300 | 177,900 | 1,440,400 |

町民個々の良心と、自主性を尊重することができず、かつ一千万円以上の財政支出を伴い、将来、これが無くても何一つ困らない「おいらせ町自治基本条例」制定の愚に疑問を呈す。

町長が自治基本条例を定めたいとした契機と、実際に制定に向けて動いた概要を問う



西館 芳信 議員

質問

町長は、どのような契機と必要性の認識の下で、この条例を制定したいと思ったのか。
町民の関心度合いを測る「条例制定に関する住民懇談会」は全十回開催されたと聞くと、私が参加した第一回は一般町民の出席者はゼロで、町民の関心は極めて低いものであった。これら開催結果の概要と担当者の所感はいかがか。

答弁

平成十七年二月の合併協議会において、合併後二年以内を目途として、『住民と行政の新しい役割分担による行政経営』を目指すということで、この条例の制定を見込みました。
また、住民懇談会は全十一回開催し、参加者総数は六十六名となっております。

再質問

この質問のために、企画課の「歳出予算執行状況」という資料をもらって見ると、平成十八年度、十九年度の二年間で、自治基本条例制定支援業務



延べ11回開催された自治基本条例制定に関する住民懇談会

委託料ということで約八百五十万円が計上されている。

これに、一般職員のプロジェクトチーム十人以上の人件費を計上すると、このための財政執行は一千万円、いや二千万円以上になると思いますが、これについて説明をお願いしたい。

また、真に町民一人ひとりの自主性を尊重し、個人の尊厳を認識したら、

このような内心の自由に触れるような条例は無用の長物であり、今からでも撤回可能と思いがいかがか。

答弁

財政支出ですが、十八年度は三百三十八万五千円となっております。条例制定委員会の運営支援と住民アンケート、シンボルマークのデザイン作成等に費やしました。

再々質問

また、本年度は三百六十七万五千円で住民フォーラム、条例解説の作成支援、パブリックコメントの作業支援等の分です。
また、合併後の自治体運営と住民自治を実施するために条例制定を撤回する考えはありません。

では、三十何条まであるこの条例中で、何か、どこでもいい、抜けたら困る部分、こういう風に困るという所があったら、それを問いたい。

また、施行した後の運用状況の検証はどんな方法で実施するのか。

答弁

条例全文が必要であると考えますが、特に前文は欠くことができないと思います。

また、検証については、住民代表機関を設置し、二年なり三年の間隔において、運用の状況をチェックして、効果をあげたいと思います。

JR

平行在来線問題

質問①

平成二十二年度に予定される並行在来線「青い森鉄道」全線開業に伴う、わが町の出資負担額はいくらか。

質問②

国や県の方針に対する町長の意見とこれまでの対応を問う。

答弁①

八戸開業時に百九十万円の出資をしており、今回側から提示された全線開業時の追加増資額が



馬場正治議員

二千三百六十万円であるため、出資総額は二千五百五十万円となります。

答弁②

沿線市町で構成する「青い森鉄道線青森開業準備協議会」で県町村会長の工藤南部町長が主張している「新幹線効果を受ける全県で対応すべきだ」との考えを支持する立場であり、町村会での議論の必要性について工藤町長とも話し合っています。さらに同じ問題で苦心している自治体が全国規模で考え、国やJRから負担軽減のための新たな対応を引き出していかなければならないと考えています。

おいらせ病院は今後どうなるか

質問①

国は病床利用率が三年連続で七十パーセント未満の公立病院に対して規模縮小などの見直しを迫っているが、おいらせ病院の病床利用率はどうか。

質問②

国からの指導内容と今後の見直しを示せ。

答弁①

過去三年間の病床利用率は表の通り。

答弁②

次の三つの改革を求められています。
一、数値目標を掲げ、経営の効率化を図ること。
二、公立病院を医師派遣の機能を持ち中核的医療を行う基幹病院と、基幹病院から支援を受けて医療活動を行う病院・診療所に再編成し、ネットワーク化すること。

おいらせ病院過去3年間の病床利用率

| 年度(平成) | 16 | 17 | 18 |
|--------|-------|-------|-------|
| 病床利用率 | 52.4% | 60.3% | 68.9% |



病床利用率改善が期待される国保おいらせ病院

特殊勤務手当の 中身は

質問

①自治体職員への「お手盛り」と批判されている特殊勤務手当について当町の実態は？
②今後の見直しは？

答弁

年に一回の防災計画の見直しの中で、最もいいと思われる方法を検討し、計画の内容を変更していきます。

答弁

①六種類の特殊勤務手当があり、昨年度の総支給額は約六千九百万円、そのうち六千百万円は医師への診療手当です。
②数年にわたり支給実績がない特殊勤務手当については見直しを検討します。

役場庁舎間の 道路整備問題

答弁

現在、町全体の道路整備計画を策定中です。

適切な避難場所 指定を

年に一回の防災計画の見直しの中で、最もいいと思われる方法を検討し、計画の内容を変更していきます。



松林 義光 議員

合併協議会で決めた重要施策をなぜ進めないのか

質問 町民交流センター改修工事(十八年度着工)木ノ下(鶉久保線歩道整備事業、木内々小学校屋根及び外壁改修工事、中央公民館大規模改修工事(十九年度着工))は、合併の際、議論に議論を重ね財源と精査のうえ決めた、おいらせ町の重要施策です。しかし、現在まったく進んでいないのが現状です。何故、計画どおり進めないのか。

答弁 町民交流センター改修工事は、十八年度着工の計画でしたが、多額の財源を要するため実施を見送っております。今後、財源精査のうえ二十二年度工事着手の予定で進めます。

木ノ下(鶉久保線歩道整備事業は、交付金事業で十九年度着工の計画でしたが、二十年度以降の交付金の継続が決まっておらず採択は無理とのことでした。再度協議の結果、側溝整備は町単独事業で、歩道整備は道路整備計画の中で検討してまいります。

木内々小学校屋根及び外壁改修工事は、十九年度着工の計画でしたが、国の耐震診断が義務づけられたため、十九年度は耐震診断を行い、その結果を踏まえ事業内容を検討します。

中央公民館大規模改修工事は、十九年度着工の計画でしたが、多額の財源を要するため今年度の工事は困難となりました。今後、施設そのもの

のあり方を含め検討します。



大規模改修の時期がおくれる中央公民館

妊婦の無料健診を拡充する考えはないか

質問 当町の妊婦の無料健診は二回です。妊婦が安心して子どもを産み育てる環境づくりのためにも、無料健診を拡充すべきであると思うが、町長の考えは。

答弁 妊婦健診一回当たり約五千円による無料化を従来の二回から少なくとも五回以上に拡充することが重要と考えています。来年度当初予算編成の中で実施回数を決めます。

長年にわたり下田公園を管理してきた業者が指名競争入札から外されている。疑問に思う

質問 この業者は仕様書にある事項はもちろんのこと、仕様書にないキャンプ場の草刈り、ロマンチック街道の土砂、落ち葉の除去などサービスで行っています。何ら問題ない業者が指名そのものから外されている。疑問に思う。何故なのか。

答弁 地元企業の育成と受注機会の拡大を図る観点から地元業者を優先的に指名し、さらに競争力を高めるため近隣市町の有資格業者を選定した結果であり、他意はありません。

質問 下田公園の管理を落札した業者と指名入札に参加した業者は。

答弁 落札した業者は、(有)北商です。指名入札に参加した業者は、梅重畑中造園(有)、八戸緑地(株)、(株)根城グリーン建設、(有)ランドスケープ、川口建設(株)、(株)力ネヒコ、(株)香月園、(有)大塚造園、(有)新幸建設の十社です。



土砂・落ち葉がたっぷりのロマンチック街道

農業への今後の取り組みについて

質問 町内に数カ所ある農産物直売所の統合により生産者、利用者ともにメリットがあると思つが、それを働きかける考えは。

答弁 生産者、消費者とも多くのメリットが考えられる。

趣旨を前向きに受けとめ、直売所間の協議会を組織し、その必要性について協議検討してまいります。

質問 町内の畜産排泄物、食品加工残滓を活用したバイオ発電や暖房として活用する考えはないのかを問う。

答弁 平成十九年、二十年度において新しい農業振興計画を策定する。そのため計画案作成後において、集落の説明会を計画しています。

阿光坊古墳群の今後について

質問 平成十九年、二十年度において新しい農業振興計画を策定する。そのため計画案作成後において、集落の説明会を計画しています。

質問 聖福寺所蔵の聖観世音菩薩像は県指定の重宝文化財であり、古墳群と併せて視察する人も多しと聞くが連絡道路の確保について問う。

質問 旧下田町の農道及び谷地(沢)田への土砂流入等、大雨対策と整備計画は。

答弁 砂利の補充や雨水浸透柵の設置、また、今年度作成の農道台帳をもとに農道、水路を調査し整備方針を関係課及び県と協議を重ね検討してまいります。



成田 隆 議員

質問 家畜の飼料やガソリンの価格が高騰している。転作に原料米を試作させる考えはないか。



大雨により土砂に埋ったコンクリート製の用水路

答弁 飼料米は国の交付金を活用してもかなりの収量を上げないとコスト割れする。町は国、県の動向を見ながら、今後協力する農家があれば進めていきたいと考えています。

質問 農業振興地域の見直しにあたり、町内過疎の解消のため、赤田前地区や本村集落周辺の除外を視野に集落説明会やアンケート調査の考えはないか。

答弁 旧百石地区の畜産農家が県畜産試験場に建設されたバイオマスプラントを平成十六年に視察した結果、プラントの建設費と維持費が多額になるため、個人による建設は困難であると思われる。また、町が建設するとしても原材料の輸送や保管、処理する大規模な施設が必要であるため慎重にならざるを得ない。

答弁 平成二十年度に国庫補助を受け保存計画を策定し、二十四年度までに整備計画策定の予定です。平成二十五年から整備開始の予定で、案内板等は二十年度に実施する。面積十一万二千平方メートル余り、地権者十三人、買収年数五カ年、進入道路は五つのルートを考えているが、道路買収の計画はない。環境対策は特に気を配ってまい

質問 今年七月、阿光坊古墳群が国の指定史跡となったが、保存(整備)計画はどのように進めるのか詳細に問う。



阿光坊古墳群へ通じる連絡道路

答弁 今年度、三団体百人ほどの見学者があった。聖福寺の駐車場に車を止め徒歩で古墳群に移動したが、三百メートル程の民有道路を利用している。理解を求めて地権者にお願ひしております。

常任委員会調査視察報告

平成十九年度において、議会常任委員会調査視察を実施したので、次のとおり報告いたします。

●産業民生常任委員会

・日程 十月二十二日～二十四日
・視察先 長野県上田市

（しなの鉄道の経営状況について）
長野県小布施町
（小布施町のまちづくりについて）

並行在来線の現状

現在JR東北線に二つの駅を有する当町は、平成二十二年度の東北新幹線新青森駅開業と同時に並行在来線の沿線自治体となり、「青い森鉄道」への増資が求められているため、十年前に同様の方式でJRから経営を引き継いだ長野県の「しなの鉄道」の現状を学び、通勤・通学の足を守るため、私たちにできることは何かについて研修を行いました。

年間八百万人と言われる観光客が訪れる軽井沢を擁するこの鉄道も開業以来赤字に苦しみ、二年前に県から多額の増資を得て欠損を補填した後、単年度決算が黒字に転じていました。



「しなの鉄道」の現状を学ぶ委員

んでおり、おおいに参考になりました。

「小布施町」に学ぶ

第三セクター「株式会社・小布施」(社員は企画部長一名のみ)による町づくりで成功している長野県の最も小さな町「小布施町」の、平日でも全国から観光客や視察団が押し寄せて昼食も予約なしでは一時間待ちという賑わいの現状を見て、その経営哲学を学びました。

委員長 馬場正治 記

●総務文教常任委員会

昨年十月二十四日から二十六日までの日程で、「大震災地における防災対策」「埋蔵文化財の保存」並びに「自然環境保護」の状況について兵庫県、岐阜県方面を視察した。

神戸市における「人と防災未来センター」は、阪神淡路大震災記念の施設で地震発生時の様子を再現、大型映像により伝え、復旧、復興へたどるコーナーを始め、十三のゾーンには遺品なども展示され、想像を絶するような体験ができた。「予期できない大災害」に備え、普段からの防災訓練と意識高揚、ボランティアの育成、関係機関との連携が重要であると痛感した。

岐阜県博物館では、特別企画「発掘された日本列島2007」を視察した。これは、埋蔵文化財として高く評価されている全国十数カ所の出土品を集め、北海道から九州まで全国七カ所の博物館

で展示されているもので、昨年七月、国指定の史跡となった当町の阿光坊古墳群から出土した太刀、勾玉、土器や蝦夷の墓のパネルも展示され、注目を浴びていた。県立博物館学芸員の説明では、このような遺跡があることは、すばらしいことであるとのお褒めのことばを頂きました。

また、近くの大垣市にある国指定の史跡屋敷大塚古墳は、面積1・26ヘクタールの前方後円墳で発掘調査が行われておりましたが、整備後の維持管理を簡略化するため思案中であるとのこと、どこの行政も経費の節減のため、頭を悩ませているものと感じた。



模型を使って耐震構造を学ぶ
「人と防災未来センター」(神戸市)

ハウを活用して指定管理者協定を結び運営しており、木曾三川、長良川の自然保護と世界の珍しい淡水魚をテーマとして一般公開すると共に、希少種の飼育や試験研究を行い保護分野においても尽力されていた。

絶滅危惧の原因は、農薬をはじめ、ダムの汚水、コンクリート水路、外来魚、水鳥、山林の荒廃など指摘され、人間の努力で防ぐことができることが多々あると痛感させられました。

委員長 成田 隆 記

どうなったあの質問



コンクリート状の塊が、むき出しになっている百石小学校校庭

これまで、定例会で行われている一般質問の中から、その後どうなったか、追跡調査してみました。
今回は平成十八年十二月議会で、議員が質問した百石小学校の校庭の安全対策について経過を調査しました。

質問 百石小学校の校庭に多数のコンクリート状の塊があり危険である。対策を打つべき。



答弁 原因は10年前の運動会で、ぬかるんだ校庭に顆粒状の石灰を散布したが、それが固まったと考えられる。危険な状態なので今後対応する。



経過 現在、校庭の改修工事の設計委託を行っており、平成20年度に全面改修の予定です。

編集後記

二〇〇八年、明けましておめでとうございます。今年はずいぶん初まり「ねずみ年」であります。「ねずみ年」というのは初心に戻り、繁栄する年と言われているそうでもあります。私達が住んでいる、おいらせ町の人達が明るく元気に過ごせる年になる様に、私達議会も町民の皆さんと共に努力していきたいと思っております。

そういう中で、今回は町民の皆様には二川目海浜公園を紹介したいと思います。外海に面している公園で四季を通して優しい顔と厳しい顔を見せてくれる海浜公園です。

晴れたおだやかな日は潮の香りが漂い、とても癒しを感じる公園です。秋の「なぎ」が良い日は、昔からの地引き網漁が行われています。町内外の人達が砂に足を取られながら、網を引く様子が見られます。二川目海浜公園の近くに来る事がありましたら、一度、素足で砂の上を散歩してみたいかがでしょうか。

議会広報編集委員 吉村 敏文 記



大漁に沸く、地引き網漁
(二川目海浜公園)